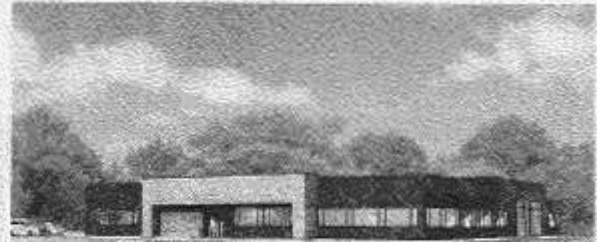


# 地域の交流拠点創出へ

## 室蘭言葉学園施設 安全祈願祭



地域住民らが集える新施設の完成予想図

【室蘭】社会福祉法人室蘭言葉学園は23日、市内で計画するコミュニティプラザはーもにー新築の安全祈願祭を現地で開催した。イベントホールやレストランを置く新たな

地域の交流拠点創出に向け、関係者ら約50人が無事完成を祈った。母恋南町2丁目52の5の旧朝陽小グラウンドを市から賃借して建てる。規模はS造、平屋、延べ

1569平方メートル。本部事務室や障害者グループホーム事務室、生活介護室など日中活動を担う機能を集約する。イベントホールやレストラン、カフェも併設し、職員、利用者、地域住民が集まれる場所を目指す。設計ははんざき建築事務所、施工は主体と設備、外構一括で東海建設が担う。今後本格着工し、2025年3月20日までの完成と同4月の供用開始を見込む。

神事で、はんざき建築事務所の半崎敏裕社長がカマ、室蘭言葉学園の菅野登一郎理事長がクワ、東海建設の中田孔幸社長がスサ入れをした。終了後の取材で菅野理

「理事長は、飲食店の設置など一地域との共生を念頭に事業を運営したい」と述べた。